



なすびの花

仕事の段取り

『段取り八割、仕事二割』

という言葉をよく聞きます。

仕事の仕上がりは、事前の準備(段取り)がしっかりできていれば、八割は成功しているという意味ですね。

『段取り』というのは、歌舞伎の舞台用語からきている説があります。

広辞苑より

【段取り】

① 芝居などで、筋の運びや組み立て。

② ことの順序・方法を決めること。

③ 心がまえをすること。工夫すること。

と解説がありました。

作業のゴールに向けて、最適な手順、方法を考えて準備や工夫をすることが大切です。

作業をしていると、段取りが得意な人と苦手な人が、見えてきます。

日常生活で、家事、育児、仕事などをこなしている人々は、自然と身に付く力のように感じます。

起床時から、洗濯機を回し、家族や自分のお弁当や朝食を作り、片付けをし、洗濯物を干し、家族を送り出し、自分の出勤準備をする、という朝のルーティーンを頭の中で瞬時に考え、こなしているのではないのでしょうか。

この感覚は、仕事の段取りでも同じです。

段取り力が高い人は、作業全体を見て、常に先を予測して行動しています。

段取り良く作業ができるようになると、無駄な作業や時間が減り、就業時間を有効に使えるようになります。

準備がしっかりできるようになると、何か問題が起きた場合でも、冷静に対応できるようになります。

「PDCAを確実に回していますか？」

と、社長がよく言われます。

段取り力を磨くために、日常的にPDCAサイクルを意識して、段取りがうまくできた時もそうでなかった時も、業務で得た経験を、次に活かすことが大事です。

今日のPDCAの後に、反省し改善を考え、明日のPDCAにつなげていくことで、無駄やミスを減らしていくことにつながります。

段取りの苦手な方も、日常生活の中でできることから取り組んでみては、いかがでしょうか。

※ PDCA⇨計画⇨実行⇨評価⇨改善の4つのステップを繰り返しながら解決に導く手法です。

5Sの「しつけ」

『5S』は、皆様ご存じと思いますが、『整理』『整頓』『清掃』『清潔』『しつけ』の5つの頭文字です。

この中で、『しつけ』だけ、なんとなく違和感を覚える人は、多いのではないのでしょうか。

『しつけ』という言葉は、子供やペットを育てる中でよく使うので、どうしてもそのイメージを持ってしまいがちです。

本当の意味は、会社全体の取り組みの中で、『整理』『整頓』『清掃』を徹底して『清潔』にし、その状態を全員が当たり前前に維持できる、という状態が『しつけ』です。

また、この『5S』ですが、世界にも広がっていて、英語では、次のように訳されています。

- ① 整理: sorting ⇨ 不要なものを廃棄する
- ② 整頓: set in order (organizing) ⇨ 決められた場所に物を置く、いつでも取り出せるようにしておく
- ③ 清掃: shine (cleaning) ⇨ 整理・整頓ができるよう常に掃除をする
- ④ 清潔: standardize (sanitizing) ⇨ 整理、整頓、清掃を実施し、職場の衛生を保つ
- ⑤ しつけ: sustaining ⇨ 決められたルール・手順を守り維持する

英語の意味で読んだ方が、5Sが業務に関連していることが理解しやすいですね。

職場の5Sが行き届いていると『段取り力』につながり、作業効率も良くなり、品質の良い製品を生み出す風土ができているということが言えると思います。

さて、皆様の周辺の5Sはいかがでしょうか？